

# 地域高規格道路「中九州横断道路」の推進に向けて

地域高規格道路「中九州横断道路」は、大分市と熊本市を結ぶ約120kmの自動車専用道路で、平成6年12月に計画路線として指定され、現在までに大分熊本両県で約66kmが調査・整備区間として事業が行われています。

大分県側は、犬飼大野間の犬飼千歳道路と千歳大野道路約13kmが本年3月までに暫定2車線で供用開始され、更に大野竹田間は用地測量等が行われ、本年度から用地買収が予定されており、竹田市と荻町間は調査が行われています。また、熊本県側については、阿蘇大津間の約5・3kmが整備区間としてトンネル工事等着手のための、詳細な水文調査・地質調査等が行われており、大津熊本間は、整備区間指定へ向けての調査が行われています。

「中九州横断道路」の推進と、未指定である竹田市荻町阿蘇市間が早期に調査区間に指定されるよう、阿蘇市議会と竹田市議会での交流研修会が行われました。



開通した千歳大野道路

## 阿蘇市議会と竹田市議会との交流研修会について



竹田市議会との交流研修会（建設常任委員会）

平成20年7月10日、「阿蘇いこいの村」で交流研修会を行いました。この研修の目的は、「地域高規格道路・中九州横断道路」の早期実現を目指すためのものです。

研修会は、来賓として佐藤雅司熊本県議会議員、熊本県庁から天野雄介土木部次長他2名、阿蘇地域振興局から尾山佳人士木部長他1名の出席をいただき、両建設常任委員会委員、波野出身の議員及び両市の担当課職員等の総勢31人で開催されました。

研修会は、最初に阿蘇市議会議長の挨拶、次に竹田市議会建設常任委員長の挨拶、そして来賓の挨拶を受けて、会議に入りました。会議は、

最初に交流研修会発足の経緯について説明が行われ、次に阿蘇市建設課職員が熊本県側の中九州・地域高規格道路推進期成会の活動報告を行い、次に竹田市建設課職員が大分県側における中九州横断道路の進捗状況の説明をしました。

最後に意見交換が行われ、意見交換の場において、本交流研修会の議事進行役を務めた阿南誠蔵阿蘇市建設常任委員長より「大分県側の進捗状況に対して、熊本県側の状況は誠に厳しいものがある。阿蘇市も前進しなければならぬ」という発言がありました。阿南委員長が発言した趣旨は、「中九州横断道路は大分県側の犬飼千歳間4・3kmと、千歳大野間8・7kmが一部供用開始されているが、熊本県においては、阿蘇大津間約5kmが整備区間の指定を受け水文調査等の詳細調査、また、大津熊本間21kmは調査区間に指定され、県内の未指定区間は阿蘇市赤水より大分県境までとなっていること」であり、熊本県側は整備に大きな進捗が見られないことにあります。これに対して、出席者の考えがそれぞれ述べられました。

最後に、今回の交流研修会は竹田市で行うことが決定され閉会しました。